

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月7日

【評価実施概要】

事業所番号	0170503353		
法人名	有限会社 ケア・ハート		
事業所名	グループホーム まごのて		
所在地	北海道札幌市豊平区美園5条3丁目2-4 (電話) 011-816-1501		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年3月6日	評価確定日	平成20年3月12日

【情報提供票より】(平成20年1月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤	16人, 非常勤 4人, 常勤換算 15.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	20,000~30,000 円	
敷金	(有) 35,000 円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,300 円			

(4) 利用者の概要(1月8日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 82.94 歳	最低	66 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭町医院 日之出歯科真駒内診療所 羊ヶ丘病院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

理念を達成する為に、個々の職員が明確な目標を立てその達成度について施設長と話し合いながら取り組みP-D-C-Aのサイクルが機能する仕組みを整えつつあります。また、職員の資格取得に法人として助成したり、外部の研修への参加を奨励するなど職員のスキルアップにも努めています。町内会の夏祭りでの近隣住民や地域の人達との交流や中学生のインターンシップの受け入れなど地域との交流やホーム機能の地域への還元にも取り組まれています。また、事故防止の為にヒヤリ・ハットの取り組みでデータ収集や分析が行われ事故の未然防止や救急救命の訓練も定期的に行われ、緊急時に速やかに対応が出来るように取り組まれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、救急救命や火災避難訓練が定期的に行われる取り組みについて挙げられていましたが、消防署の協力を得て、定期的に救急救命訓練や火災避難訓練が実施され緊急時に速やかに対応が出来るように継続的に取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価の意義についてカンファレンス等を通じて職員で共有され、自己評価については、職員が参加して行われると共に職員のスキルアップや研修の機会として利用されています。外部評価の結果については、運営推進会議に報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在5回実施されています。主な議題についてはグループホームまごのてでの取り組みについて平成18年度外部評価の結果報告 避難訓練の報告 まごのての行事報告 まごのてで提供している食事の試食会
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 入居費の支払いに毎月ご家族が訪問され、近況報告や健康状態など報告されて、意見や希望、要望など話し合われて運営に反映されています。また、個々のご家族に毎月「たより」が発行されて行事参加の様子や日常生活の様子、職員の紹介など伝えられています。また、金銭管理についても毎月報告されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入して、町内の「夏祭り」に参加したり、保育園の発表会に招待され出かけたり地域との交流に努めています。また、中学生の体験学習の受け入れなどホーム機能を地域に還元する取り組みも行われています。今後は、「介護教室」や「認知症の勉強会」などを開催するべく検討されています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の達成のために、個々の職員の具体的な目標を掲げその達成度について話し合われフォローアップされている。P-D-C-Aのサイクルが機能する仕組みを整えつつある。		特筆すべき点として、個々の職員の目指すべき目標が明確であり、目標達成に評価されるシステムが構築されつつある。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して、町内の「夏祭り」に参加したり、保育園の発表会に招待され出かけた地域との交流に努めています。また、中学生の体験学習の受け入れなどホーム機能を地域に還元する取り組みも行われています。		今後は、「介護教室」や「認知症の勉強会」などを開催するべく検討されています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価の意義についてカンファレンス等を通じて職員で共有され、自己評価については、職員が参加して行われると共に職員のスキルアップや研修の機会として利用されています。外部評価の結果については、運営推進会議に報告されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在5回開催されている。メンバーは利用者、家族、町内会役員、包括支援センター、民生委員、法人代表、事務長、施設長、管理者及び職員で構成され、食事会を開催する等具体的に活動に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、日ごろより地域の人々の協力を得られるように、AEDの使用法やホーム主催の行事に地域の人達が参加しやすいように運営推進会議で働きかけを行う計画がされています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、行政（市担当者）や包括支援センターとの連携の重要性について理解し、サービスの質の向上に日々取り組んでいる。</p>		<p>今後は、さらに行政との連携が深まるように協力体制構築や認知症の理解や啓発に取り組んでいく計画が検討されています。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>個々のご家族に毎月「たより」が発行されて行事参加の様子や日常生活の様子、職員の紹介など伝えられています。また、金銭管理についても毎月報告されています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居費の支払いに毎月ご家族が訪問され、近況報告や健康状態など報告されて、意見や希望、要望など話し合われて運営に反映されています。個々のご家族に毎月「たより」が発行されて行事参加の様子や日常生活の様子、職員の紹介など伝えられています。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>事業所は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。職員の写真を共用空間に掲示して来訪者に見やすいようにしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の資格取得に法人として助成したり、外部の研修への参加を奨励するなど職員のスキルアップにも努めています。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は、グループホーム協議会や管理者会議で他施設との交流で意見交換など行われている。</p>		<p>今後は、同一法人内の他施設との職員の交流や相互訪問などで意見交換や研修会開催の検討がされています。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、本人、家族の見学で職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、料理の準備や芋の皮むきなどして一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの思いや意向の把握に取り組み、入浴や食の嗜好の把握、外出や趣味への支援など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や看護師や医師からの助言、カンファレンスで職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、毎月開催されるカンファレンスなどで現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	毎週看護師による健康チェックで利用者の健康状態が把握され、医師の往診も確保され医療連携体制が活かされている。また、本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、趣味への支援や音楽療法への参加が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者をよく知る看護職員による定期健康チェックや主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について「指針」が明確化され本人・家族の意志が確認され、職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや個人情報の記録の取り扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの希望や思いを把握して、散歩や買物、花見、動物園や雪まつり見学など支援している。また、一人ひとりのペースを大切に、トイレや入浴など支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、料理の準備や盛り付け、配膳の準備、食器洗い等職員と利用者が一緒になって行っている。また、食の安全に配慮して野菜は直接農家から仕入れている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ゆっくりと入浴が楽しめるように、一人ひとりの希望やタイミングに応じて、入浴日は決めずに週2～3回を目安に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴が把握され、調理の準備、歌唱、百人一首、カルタ、おとなのドリルなど「本人ができること」への支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、花見や温泉入浴、動物園や雪まつり見物、紅葉狩りやドライブなど戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力を得て、火災避難訓練や救急救命訓練が実施されている。</p>		<p>今後は、緊急時に日ごろより地域の人々の協力を得られるよう運営推進会議で働きかけを行う計画がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な食事や水分の摂取量が把握され、栄養バランスや摂取カロリーについても栄養士の指導・助言を受けて支援がされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>閑静な住宅街に位置し、近くには商店や豊平公園があり立地条件に恵まれた環境にあるグループホームです。また、利用者にとって気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。広いリビングには、季節の花や観葉植物が飾られ季節感が味わえる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、家族の写真や観葉植物が置かれていたり、使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。